

平成19年9月10日

加盟団体関係者各位

(財)日本卓球協会
ルール審判委員会
委員長大野寿一

平成19年9月1日改定・施行の接着剤に関する新ルールおよびその運用について

去る9月1日開催された第2回理事会において、接着剤に関するルールが下記の通り改定することが承認されました。つきましては、新ルールを運用するにあたってのガイドラインを定めましたので併せてお知らせいたします。

関係者への徹底をお願いいたします。

平成19年9月1日改定・施行の新ルール

2.2.4 ラバーの接着行為等

- 2.2.4.1 ラバーをラケット本体に貼る場合に使用する接着剤は、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTTAが公認した接着剤のみとする。
- 2.2.4.2 揮発性の有機溶剤を含むラバークリーナー等を使用してはならない。
- 2.2.4.3 主要な大会では、審判長が定めた方法により、本会公認の”Enez”を用いたラケット検査が行われ、試合後のテストで競技者のラケットに基準を越える揮発性有機溶剤が含まれるとして”Enez”で赤ランプの表示が示された場合には、その競技者に対してその試合のみの負けが宣告され、加盟団体に報告される。但し、同じ大会のラケット検査で同一競技者について2回目の赤ランプ表示があった場合には、その競技者はその大会のそれ以降の試合に出場できない失格処分とする。
- 2.2.4.4 大会では、競技者が公認接着剤を使用してラケットにラバーを貼る場所が提供されなくてはならない。

■ 2.2.4.1の接着剤とは、液体、固形、シートなど全ての接着剤をいう。

新ルール運用ガイドライン

1) ボランティアテスト

ラケットテストが行われる大会では、選手は試合前にボランティアテストを受けることができる。

2) 大会での検査対象者

審判長は、予め大会規模およびEnezの台数に応じて、どの試合で、どんな方法（試合前か試合後か）でテストするかを決定する。検査対象選手の選定はランダム方式で決定するものとする。

3) ラケット検査にあたって

検査場所は、検査に影響を与えるガスの発生源のない場所を選び、Enezの取扱説明書に従い検査を実施すること。

4) 検査を拒否した選手

ラケット検査を拒否する選手は、Enezで赤ランプが点灯したと同様の扱いとする。

5) その他の検査

ラバーおよびラケット本体に関するルールは変更されていないので、厚さ、平坦性などについては従来にも増してチェックを行ってください。

以上